

「後期高齢者医療制度、負担の軽減を」 「県立浦安高校の耐震改修工事を急げ」

日本共産党提出の意見書
2本、今月27日採決へ



可決を
せひ

週刊 市議会報告

07年9月24日
第1012号
【発行】日本共産党
浦安市議団
市役所控え室
350-1243



元木美奈子
入船4-37-14
355-8526
minamonton@
jcom.home.ne.jp



井原めぐみ
東野2-8-13
353-4730
i_megumi@d8.
dion.ne.jp



美勢 麻里
北栄2-3-16-203
354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

開会中の9月定例会市議会に日本共産党は「後期高齢者医療制度」について「県立浦安高等学校の早期耐震改修工事の実施を求める意見書」を25日提出します。採決は議会最終日の27日。日本共産党は、共同をひろげるため検討と意見を寄せてもらえるよう、案文の段階で全議員に配布し市民の切実な願いを意見書として実らせるために努力を重ねています。

「現代版姥捨て山」後期高齢者医療制度

保険料は天引きでいやおうなし

来月4月から実施予定の後期高齢者医療制度。75歳以上のお年寄りは現在加入している国保や健保を脱退させられ、自動的に制度に組み入れられます。年収180万円未満で子どもの扶養家族になつてお年寄りは保険料を払う必要がありませんでしたが、この制度では75歳以上の方はすべて「ひとしく」保険料を支払う仕組みになります。これまでとの大きな違いは、1万5千円以上の年金を受け取っている人からは「天引き」でいやおうなしに保険料を支払うしくみです。

7万4400円平均で

年金額が1万5千円未満のお年寄りは天引きはされませんが窓口での保険料納付が義務づけられます。保険料は全国平均で月6200円、年間で7万4400円もの負担増です。

血も涙もない！お年寄りからの保険証とりあげも

心配されるのが保険料を払えないお年寄りの保険証とりあげです。現在は障害者や被爆

必要な医療も制限？

と同じように人道的配慮から75歳以上のお年よりの保険証のとりあげは禁止されています。しかし今度の制度では保険料滞納の場合、いったん窓口で10割負担しなければならぬ「資格証明書」を発行するというのです。治療した内容によって医療費が決まる「出来高払い」ではなく、病気に「いくらまで」と治療費の上限を決める「差別医療」の導入も検討されています。それ以上は自費ということになりかねません。大量の「医療難民」を生み出す恐れ大です。

意見書では「資格証明書の発行をしない」「保険料と医療費の一部負担金を軽減するための措置を講じる」ことなどを求めています。

与党の「凍結」案のなかみは？

政府与党が世論と運動に押され「凍結」を言い出していますが、70歳から74歳までの窓口負担を一部に据え置くことと、現在扶養親族となつて約200万人についてのみ保険料徴収を「凍結」という部分の手直しです。しかも自民党総裁候補の福田氏は「消費税で福祉というのはやむをえない」とその財源は消費税に求める考えを明らかにしています。

耐震化は生徒・教職員の命にかかわる最優先課題



棟棟 生徒棟 管理棟 廊下 正面 玄関 前（左）

県立浦安高等学校の耐震強度が倒壊または倒壊する危険性が高いとされているIS値0.3を大きく下回るIS値0.19であることが、このほど判明しました。

県教育委員会からこの数値が学校側に伝えられたのは今年3月。現在生徒が使用している生徒棟の耐震改修工事のための実施設計が行なわれている最中であり、工事にかかれるのは来年の8月頃の見込みです。

同校には教職員室や特別教室のある管理棟もあり、「こちらの耐震強度も生徒棟と同じ数値です。日本共産党が県教育委員会と懇談した際、管理棟は平成20年度に実施設計を行い、21年度に着工とのことでしたが、その後の日本共産党の調査で、県財政悪化を口実に管理棟の耐震改修が21年度以降に遅れる恐れもあることがわかりました。

浦安高校は市の避難場所にも指定されており、同校の耐震改修は緊急課題です。生徒、教職員の命を守るため、また浦安市民の安全を守るためにも、県は最優先課題として取り組むべきです。意見書では「県に対し耐震改修工事を可及的速やかに実施することを強く求める」としています。